

令和6年度 大館市立矢立小学校 学校評価書(前期 ・ 年度)

学校教育目標

ふるさとを誇りに 夢や目標に向かって 主体的に生きる 児童の育成

目指す学校像

- ◎子どもの元気と笑顔、活力を地域に届ける学校
(矢立**笑活**校)
- ◎地域と学校が連携・協働で子どもを育てる学校

受け継がれる子ども像

矢立杉林のように 大地にしっかりと根を張り合い それぞれが大空に向かって たくましく伸びる子ども

目指すふるさとキャリア教育

- 矢立の人・もの・こととの関わりを広げて
 - ◇郷土愛 ◇主体性 ◇自立心 ◇発信力

目指す授業

- ◇子どもが試行錯誤し、根拠を明らかにして学ぶ授業(理解の深化)
- ◇子ども同士が助け合い、励まし合い、高め合う授業(学び合いの充実)
- ◇自らの努力や成果を自覚できる授業(自己肯定感と自信の向上)
- ◇一人一人の確かな見取りと適切な指導・支援のある授業(教師のファシリテート)

重点事項

- 1 基礎・基本の定着と説明する力の育成
- 2 効果的な2複式の学校運営
- 3 児童が主体となるPJ(プロジェクト)や活動
- 4 幼保・小中、地域施設等との連携



【10月 学習発表会 全校合唱】



【10月 きりたんぽまつり 矢立PR & 粋田酒こし舞】



【10月 ふれあい集会】



【12月 創立150周年記念集会】



【1月 アメッコ市枝アメ付け】



【12月 山内俊隆さん ありがとうの会】



【12月 創立150周年記念集会】



【1月 全校スキー教室(大鰐)】

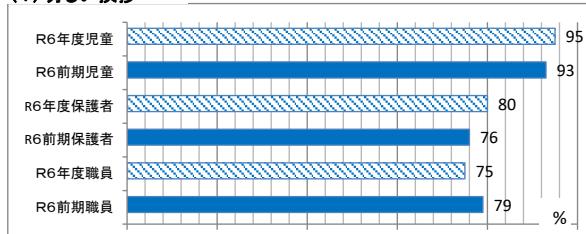
ア	児童の状況 自己評価 Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
良好		4		実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成	
おおむね良好		3		実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成	
やや不十分		2		実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成	
努力を要する		1		実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成	

I 自主的・自律的な生活

児童生徒の状況		自己評価A	学校運営協議会委員評価	学校運営協議会委員のコメント	
よりよく生活し安全に過ごそうとする意欲と能力を高めている。		前期	おおむね良好	自分から進んで挨拶ができる子どもが多い中、やや個人差もあるようである。校長先生が子どもたちに伝えた「自分から進んで」という言葉を浸透させ、毎日の活動を通して一人一人の主体性のさらなる醸成に期待したい。また、基本的生活習慣の確立に向けた家庭との連携を引き続き大切にしてほしい。	
		年度	おおむね良好	あいさつ運動や委員会の呼びかけ等、挨拶のレベルアップに向けての取組がされている。よい児童を手本にしたり、挨拶の意味や意義を伝えたりすることで全校児童が明るい挨拶ができるようにしていってほしい。安全教育については、これまでになかった危険が生じたり、新たな対策を求められたりしているので、引き続き丁寧な取組をお願いしたい。	
【前年度(一年度)】 あいさつは、自分から進んできる子どもが多いが、個人差もある。児童主体のあいさつ運動などの取組を継続しながら、進んで元気よくあいさつすることを意識させていく。規則正しい生活については、メディアとの関わりによる影響が大きいと感じている。家庭との連携を図りながら、メディアに関する目標を設定し、チェックカードを活用しながら規則正しい生活ができるようにしたい。特に、休日や長期休みの過ごし方については、普段以上に声かけをしていきたい。 安全面では、前年度までの反省や助言をもとに安全な環境づくりを行うとともに、子どもたちが正しい行動をとれるように継続して指導していく。			【年度(次年度)】 あいさつをきちんとできる児童が多いが、個人差もある。今年度も「あいさつ標語コンテスト」を行ったことが、元気のよいあいさつや相手を意識したあいさつを心がけるきっかけとなったので、日常に生かすことができるようにならう。規則正しい生活については、チェックカードを活用して家庭との連携を図り、特に睡眠についての意識を高めていく。安全教育については、高い数値となっているが命に関わることでもあるため、日頃からルールを守ることの大切さを伝えながら、機会を捉えて指導することや未然防止の取組を大切にしていきたい。		
評価指標	実践課題	主な取組		自己評価B	
1 基本的な生活習慣	(1) 明るい挨拶 (2) 規則正しい生活	・挨拶について考える場の設定 ・挨拶運動 ・家庭との連携(早寝、早起き、朝ご飯) ・始まりの時間を意識した学校生活		前期	年度
2 集団生活・集団活動	(3) 自分の役割に責任をもつ態度の育成	・自ら進んで取り組む活動 ・家族の一員としての自覚		3	3
3 安全に過ごすための行動	(4) 安全教育の充実	・飛び出し防止の指導 ・交通安全教室 ・判断力を高める避難訓練		4	4

[1]に関するデータ

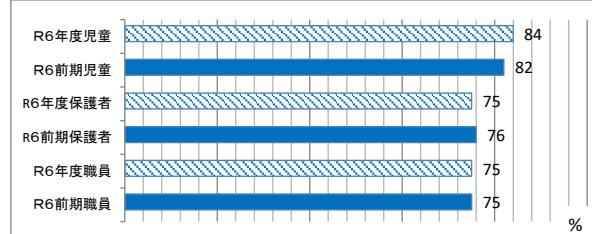
(1)明るい挨拶



保護者アンケート記述より
・もう少し大きい声でできるとよい。

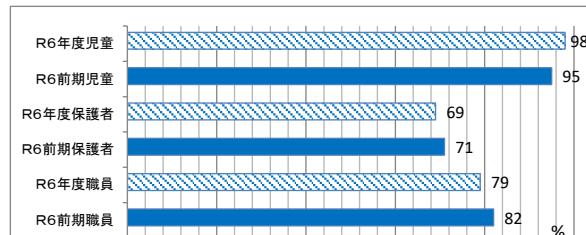
・挨拶については、保護者と児童の捉え方に差はあるが、前期と比較するとどちらもよくなっている。地域の方々からは挨拶がいいと言われるが、自発的にという部分で個人差がある。職員ももう少しできなのではと感じている。学校では、プロジェクト委員会の呼びかけやあいさつ運動を行い、挨拶のレベルアップを試みており。児童も合言葉の目標の中で、「一言付け加えて挨拶する!明るい挨拶をする!」相手が元気になるような挨拶をするなど掲げているので、それを後押ししていかない。規則正しい生活については、2学期のメディアコントロール週間の取組では、就寝時刻に課題が見られたので御膳水集会やPTAでも話題にした。睡眠時間の不足がいろいろなことに悪影響を与えることを家庭にも周知していきたい。

(2)規則正しい生活



[2]に関するデータ

(3)自分の役割に責任をもつ態度



保護者アンケート記述より
・自分でやることを少しずつ増やしていく
こうと思います。

・児童は学校の係・当番活動をよく頑張っていると捉えているが、家庭では物足りなさを感じている。それが、児童と保護者の差に表れている。アンケートの記述にあるように、児童の成長段階に応じた家庭での役割を見つけ、その役割を見守りながら増やしていくように協力でいきたい。



[3]に関するデータ

(4)安全教育の充実



・安全教育に関して、児童・保護者・職員ともに数値が下がってしまったが、高い数値になっている。日頃の保護者、地域の方々の安全な登下校へのご協力のおかげである。2学期は、火災を想定した避難訓練を実施し、防火扉を通る体験や煙体験を行った。いろいろなパターンを想定しながら、安全教育を推進していきたい。



ア 児童の状況

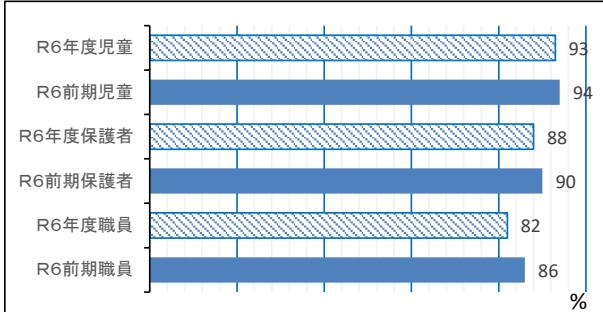
Ⅱ 思いやりの心・たくましい心

児童生徒の状況	自己評価A	学校運営協議会委員評価	学校運営協議会委員のコメント
互いに認め合い、助け合いながら物事に取り組み、自分たちの力で解決していく活動の充実が図られている。	前期 おおむね良好	おおむね良好	授業では、先生方のきめ細かな指導や支援により、子どもたちは自分の考えをしつかりともって共感的に学び合っている。行事では、自分のよさを発揮しながら意欲的に取り組んでいる子どもが多い。引き続き、一人一人が目標をもって取り組み、自分の頑張りや成長を実感できるような手立ての工夫をお願いしたい。
	年度 おおむね良好	おおむね良好	問題発生の事例があったが、その後の対応が適切に行われ、リカバリーされていた。思いやりの心の育成と、強い意志や多数の考えに惑わされないようなくましい心を育ててほしい。発信力と聞く力のバランスの構築や一人の多様性を認められるような教育、指導の工夫に努めもらいたい。行事では一人一人活躍ができる場があり、それそれが大きな存在となっている。自己肯定感が大幅にアップしているという結果からも、充実感や達成感を感じ、自信につながっていると思われる。
校自己改評善価の概要と学	【前期(一年度)】 自己有用感は、自分で気付くことに加えて、他人から感謝されたり認められたりすることで高まることが多い。これからも玄関前の「サンキューがんばりの木」に記入することや帰りの会などを通して、互いのよさを認め合えるようにしていく。また、学校行事や様々な活動を通して、一人一人のよさを発揮できる場を設定していきたい。いじめについては、日頃から子どもたちの様子を観察したり、教育相談を行ったりして未然防止と早期発見に努めていく。また、いじめが起こってしまったときの対応も大切にしていく。いじめゼロを目指すとともに、いじめ見逃しゼロを目指して対応していく。 【年度(一次年度)】 学校行事で一人一人がよさを発揮できる場や役割を果たす場を設定したこと、自己有用感の高まりや達成感を味わうことにつながった。引き続き、学校行事を通して一人一人のよさを発揮できる場を設定しながら、帰りの会でよさを伝え合うなどの日常的な活動も大切にしていきたい。 いじめについては、日頃からの観察や教育相談を通して未然防止と早期発見に努めていく。そして、いじめが起こってしまった場合は、当該児童への対応や再発防止の取組を学校全体で行うことを大切にしていく。また、事実を明らかにし、いじめを見逃すことのないようにする。		

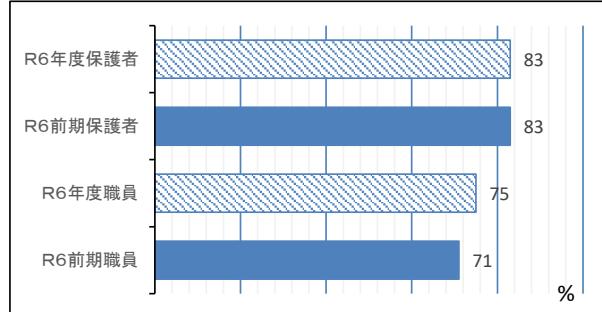
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 共感し合う心	(5) 自己有用感をはぐくむ集団づくり (6) いじめ、諸問題発生の防止	・互いを認め合う学級づくり ・縦割り活動の充実 ・学び合いを大切にした授業 ・早期発見の体制づくり ・いじめアンケート ・教育相談の充実 ・家庭との連携	3	3
5 一人一人のよさの発揮	(7) 達成感を味わえる活動	・運動会、学習発表会、ふれあい集会などの学校行事 ・自分のよさに気付く場の設定	4	4

【4に関するデータ】

(5)自己有用感をはぐくむ集団づくり



(6)いじめ、諸問題発生の防止

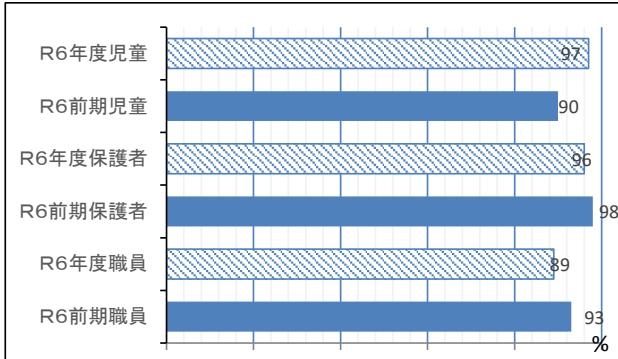


保護者アンケートの記述より

・いじめは無いと思いますが、ふざけたからかい言葉を上級生が下級生に言っているのをよく耳にします。一抹の不安はあります。

【5に関するデータ】

(7)達成感を味わえる活動



保護者アンケートの記述より

・よく練られた一人ひとりが個性を発揮できる学校行事だと思います。



【左:学習発表会(5・6年劇) 右:校内マラソン記録会】

・児童・保護者・職員とも高い数値になっている。児童アンケート「学校行事を頑張り、自分の頑張りに満足できた」の数値が大幅にアップした。校内外での発表や活動において、自分や集団の取組に達成感や成就感を感じ、自信をもった結果だと思う。これからも、児童がさらに主体的に活動し、自己有用感を高められるように支援していきたい。

ア 児童の状況

Ⅲ 基礎学力

児童生徒の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
児童一人一人が基本的学習習慣を身に付け、主体的に学習しながら学習内容を定着させている。	前期 おおむね良好	おおむね良好	学年が上がるごとに学び方が身に付いており、課題に対して真剣に取り組む姿がみられる。一人一人の学習状況をしっかりと把握し、丁寧な指導や支援が行われている。引き続き、どの子どもも活躍できる場の設定や、少人数の特性を生かした指導・支援をお願いしたい。
	年度 おおむね良好	おおむね良好	一人一人への丁寧な指導や実態をしっかりと把握した上で指導が行われている。全体の平均数値にとらわれずに、個々の能力や学力を高めたいというポテンシャルをもって指導に取り組んでほしい。また、今後も児童数が少ないという利点を大いに生かしてほしい。
と 自 己 校 評 の 価 改 の 善 概 策 要	【前期(→年度)】 今年度は、友達の考えを解釈しながらねらいの達成に向かう学び合いを重点に掲げている。友達と助け合ったり教え合ったりしながら問題解決に向かい、学び合いが充実するようにしたい。学び合いの形態を工夫したりICTを効果的に活用したりすることで、子どもたちは友達と協働して学ぶ良さや意義を感じている。さらに学び合いを深めるためには、教師の授業構想力を高めていくことが必要である。本校の共通実践事項を確実に行ない、日々の授業改善に努めていく。 【年度(→次年度)】 各学級において共通実践事項を行い、日々の授業改善に努めた結果、児童の互いに助け合いながら課題解決に向かう姿勢が定着してきた。協働的・共感的な授業実践による成果だと考えられる。しかし、学力には個人差があり、少人数による学び合いの工夫は常に必要である。引き続き充実した学び合いを図りながら、学力の底上げにも重点を置きたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 基本的学習習慣	(8) 基本的学習習慣の確立	・矢立っ子「学習の約束」・ノート指導・家庭学習の習慣化 ・各教科における言語活動・表現する場の設定・ドリル等を活用した反復練習	3	3
6 学力向上	(9) 基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成	・少人数の特性を生かした基礎・基本の定着・児童主体の授業改善 ・教師の確かな見届けと指導・支援・根拠を明らかにして説明する場の設定 ・児童主体の授業改善・学び合いのスタイルの工夫	3	3

〔5に関するデータ〕

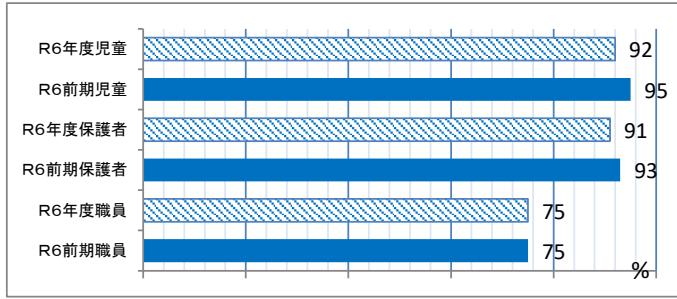
(8) 基本的学習習慣の確立



・児童アンケート「忘れ物をせず、準備を整えて授業で学習した」の数値が下がった。忘れ物をしないことや次の準備を整えることは、計画性を育むことにつながることを児童に伝えたい。「家での家庭学習を毎日頑張ることができた」の数値は高く、家庭での見届けがしっかりと行われていることに感謝している。家庭学習の一助として、高学年の教室には、中学生の家庭学習ノートを借りてきて展示している。

〔6に関するデータ〕

(9) 基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成



・児童・保護者の数値が高いのに比べ、職員の数値が低くなっている。この数値が少しでも上るように取り組んでおり、その結果が児童や保護者の評価として高い数値になっているので、職員の取組がよい方向に向かっていると捉えている。職員の評価が低いのは、まだまだ改善できるところがあるという思いからである。人数が少ないという利点を最大限に生かし、児童が楽しく進んで学びながら、「分かった」「できた」と思える授業を創り上げていきたい。また、駅廻内小との合同授業や花岡小とのオンライン授業を通して、人数が多くなっても自分の力を発揮できる場を引き続き設定していかたい。

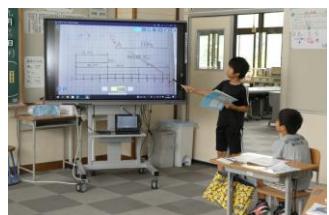
＜普段の授業の様子から＞



【1年 算数】



【2・3年 算数】



【4年 算数】



【6年 外国語 花岡小とのオンライン授業】

ア 児童の状況

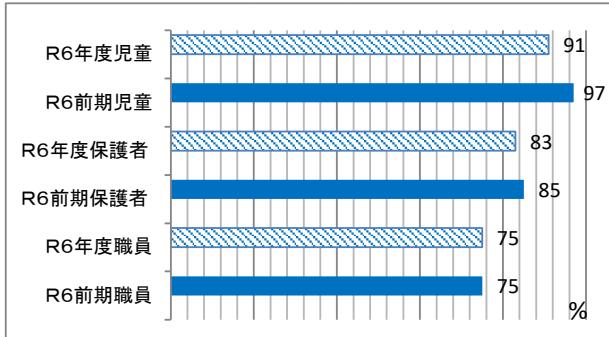
IV 健康と体力

学校の状況		自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
自己校評の価改の善概策要と	前期	おおむね良好	おおむね良好	メディアコントロールに関わり、独自に「お手伝い」の項目を設けるなど、健康的な生活習慣の形成に向けた取組がよくなされている。また、熱中症への対応など、安全面に配慮しながら一人一人の子どもの実態に応じた体力づくり活動が行われている。秋季、冬季での活動の充実に期待したい。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	歯磨き指導の取組により虫歯予防への意識は高まっているが、こまかに言葉かけ等により自主的・自発的に習慣化されるよう期待したい。メディアに関する「みんなでシェアハビ」の新たな取組が素晴らしいと感じた。引き続き、家庭と連携を図りながら、自分自身でコントロールして健康な生活習慣が確立されるよう努めてほしい。年間を通して、マラソン、なわとび、スキーなど子どもに合った体力づくりが行われている。やり方を変えたマラソン記録会は、一人一人が目標に向かって取り組める活動になったと思う。
【前期(→年度)】 歯みがきカード等の結果を見ると昨年よりも達成率は上がっているが、内容を見ると休日の朝・昼の歯みがきが疎かになっていた。食べたら磨く習慣が身に付くよう、学校歯科医の協力も仰ぎながら指導を継続していく。生活習慣に関して、今年度はメディア使用についての家庭のルールを決めてもらうよう取り組んでいる。体力づくりでは、天候の悪い日も工夫して室内での運動に取り組むことができた。休み時間に体育館で体を動かして遊ぶ児童も多くみられるので、熱中症や怪我に注意し、安全に遊べるよう見守っていきたい。				
【年度(一昨年度)】 9月のメディアコントロール週間の達成率は、睡眠に関係する項目が低いという結果であった。ヘルシースポーツ委員会の発表で睡眠について取り上げて発表するなどした結果、1月は就寝項目の達成率は11.3%アップした。他の項目よりもまだ低いので、来年度も継続して睡眠の大切さを伝えられるよう指導していきたい。体力づくりでは、冬期間も中休みのなわとびタイムで記録会に向けて一生懸命取り組む姿が見られた。低学年は昼休みにグラウンドや体育館で遊んでいることが多いので、高学年にも声をかけるなどして運動する機会を増やしていきたい。				

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B 前期	年度
8 保健指導	(10)健康的な生活習慣の形成	・早寝、早起き、朝ご飯、メディア等One Oneカードの取組 ・給食、歯磨き指導	3	3
9 体力の向上	(11)体力づくり活動の充実	・業間運動の推進　・外遊びの奨励　・徒歩通学の推奨	3	3

〔8に関するデータ〕

(10)健康的な生活習慣の形成、歯みがき指導



保護者アンケートの記述より
・休日、夜しかみがかない。声をかけてもやらないです。

・児童アンケート「食事の後の歯磨きを丁寧にできた」「好き嫌いせずに何でも食べようとした」の数値が下がった。12月に、5・6年生が学校医の先生にお越しいただき、歯の健康についての授業を受けた。休日の歯磨きに課題があるので、引き続き家庭に協力をお願いしていく。
・メディア使用については、北陽中学校区の取組として「シェアハビ メディアver」を行った。メディア使用についての悩みを募集し、その悩みに対して学校の垣根を越えて返事をするという取組である。家庭での取組も必要だが、自分で自分でコントロールして健康的な生活習慣を身に付けさせていきたい。

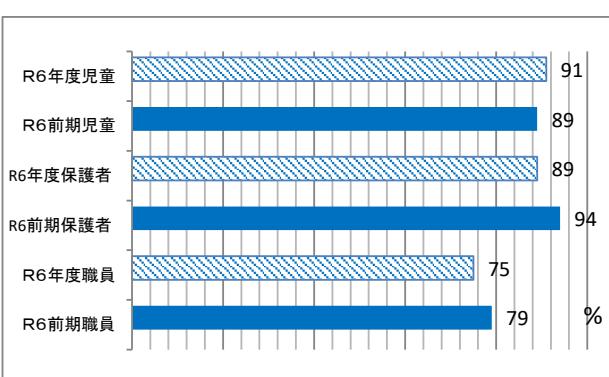


【5・6年 学校歯科医による歯磨き指導】

【歯っぴーこいん集計
(ヘルシースポーツ委員会)】

〔9に関するデータ〕

(11)体力づくり活動の充実



【なわとび記録会に向けて 中休み】



【スキー授業 矢立スキー場】

・児童の数値は上がったが、保護者・職員の数値は下がった。マラソン記録会では、今年度から自分でエントリーする距離を決め、練習タイムを上回るように練習するやり方に変えた。ほとんどの児童がタイムを大幅に更新することができた。冬場は運動量が減りやすくなるので、なわとび記録会に向けての練習、スキー授業などで体を鍛えていきたい。また、運動量の多い「校歌ダンス」も効果的に取り入れていきたい。

イ 学校運営の状況

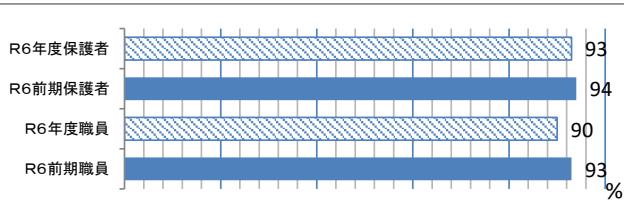
V 組織運営及び保護者・地域との連携

学校の状況		自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
学校に実情に合った経営がなされ、保護者、地域との連携が図られている。	前期	良好	良好	保護者、職員とも評価指標に関わるアンケートの肯定的な回答が多い。「学校は地域のために、地域は学校のために」という考え方の下、学校、PTA、地域が一体となって子どもたちの成長を支えており、良好な状況である。
	年度	良好	良好	地域の人との様々な活動を通して、自分たちが大切にされている喜びを感じ、子どもたちの地域を思う心や地域のために頑張ろうとする気持ちが育っている。子どもたち自身が、主体的に学校運営に関わることで、さらに笑顔あふれる「矢立笑活」校を目指してほしい。
学自己の評価概要と改進策	【前期(→年度)】 今年度も農園活動をはじめ、交通安全教室や田植え、クラブ活動などの様々な活動に保護者や地域の方々のお力を借りて、充実した活動ができている。また、公民館や保育所との連携をさらに深め、新たに避難訓練において避難場所としてお願いしたり、不審者対応の応援に駆け付けてもらったりすることもできた。民生児童委員と語る会で、地域の方々が子どもたちや学校に关心をもってくださっていることをとても感じたので、さらに矢立の人・もの・こととの関わりを広げていけるよう、今後も地域と連携・協働し、保護者や地域から信頼される学校となるよう取り組んでいきたい。 【後期(→次年度)】 後期も行事や交流活動を通して、保護者やお助け隊の方々はもちろん、公民館、保育所、北陽中学校区の各校との連携・協働を深めることができた。また、ふれあい集会での交流や、学習発表会、150周年記念集会、きりたんぽまつり、矢立公民館祭り等での発表を通して、地域に元気な姿を届けることができた。今後も、お世話になっている保護者や地域の皆様に感謝の気持ちを表せるよう、また、地域を大事にする気持ちを育めるよう取り組んでいきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
10 学校の明確な運営	(12) 経営方針や重点施策の明示	・経営方針、重点施策の明確化	4	4
11 開かれた学校	(13) 保護者・地域への情報発信	・学校だより、学級だよりの活用 ・諸活動の案内 ・HP、ブログ、緊急メールシステムの活用	4	4
12 PTA、地域、他校との連携	(14) PTA、地域、関係機関との連携	・地域のよさを生かした活動(地域人材の活用) ・PTA活動の充実 ・9年間のスパンでの実践事項 ・他校との交流学習	4	4

【10に関するデータ】

(12) 経営方針や重点施策の明示



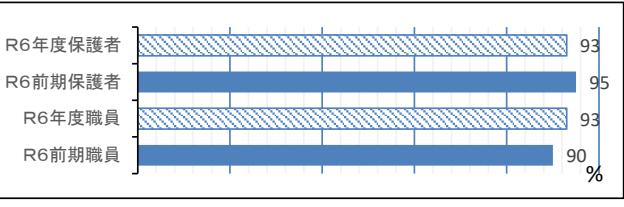
・保護者、職員とも数値が少し下がった。児童には行事等のあいさつで、保護者や地域のみなさんにはPTA、学校報などで、学校の目指す子ども像や合言葉について伝えていく。3学期の始業式では、児童・保護者アンケートの結果を伝え、継続して頑張ってほしいことや改善してほしいことを児童に伝えた。



【3学期始業式 校長から】

【11に関するデータ】

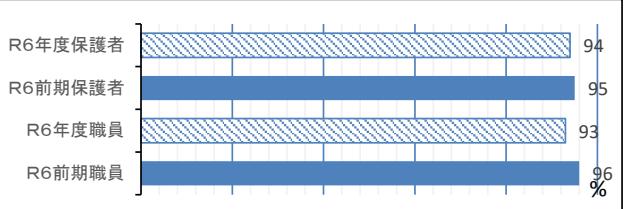
(13) 保護者・地域への情報発信



・保護者、職員とも90P台と高い数値である。職員の数値が上がったのは、学校や児童の様子を分かりやすく伝えることができている結果だと思う。学校報や学級通信、保健だよりなどでは、子どもたちの様子だけでなく、学校経営や学級運営についても理解していただくような情報発信をしていきたい。また、引き続き報道機関等も利用しながら、矢立小の様子を多方面に発信していくようにしたい。

【12に関するデータ】

(14) PTA、地域、関係機関との連携



【地域の方々の協力を得て 左:さつまいも掘り 右:花壇・農園作業(お助け隊)】

・保護者・職員とも90P以上の数値になっている。保護者や地域の方々のご支援・ご協力のおかげで、児童が楽しく活動できている。創立150周年の事業を行った今年度は、特にそれを感じた。児童アンケート 地域のために頑張ったと思えることがある」の数値が上がり、地域のために自分たちが貢献しているという意識が高まってきている。これからも、地域に信頼され、地域の「元気の源」として地域と共に歩んでいく学校を目指したい。

令和6年度 学校評価一覧表(年度)

学校教育目標 『ふるさとを誇りに 夢や目標に向かって 主体的に生きる 児童の育成』

大館市立矢立小学校

市教育 施 策	評 価 項 目	評 価 指 標	実 践 課 題	主 な 取 組	アンケート対象			自己評価 B
					児童	保護者	職員	
○・ 大 未 来 ふ る さ と キ の や 育 リ 成 ア (人 間 的 基 盤 と し た 大 館 市 民 基 盤 力 ・ 大 館 市 民 実 践 力 の 育 成)	I 自主的・自律的な生活 (よりよく生活し、安全に過ごそうとする意欲と能力を高めている。)	1 基本的な生活習慣	(1)明るい挨拶 (2)規則正しい生活	・挨拶について考える場の設定 ・挨拶運動 ・家庭との連携（早寝、早起き、朝ご飯） ・始まりの時間を意識した学校生活	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3
		2 集団生活・集団活動	(3)自分の役割に責任をもつ態度	・自ら進んで取り組む活動 ・家族の一員としての自覚	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3
		3 安全に過ごすための行動	(4)安全教育の充実	・飛び出し防止の指導 ・交通安全教室 ・判断力を高める避難訓練	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4
	II 思いやりの心・たくましい心 (互いに認め合い、助け合いながら物事に取り組み、自分たちの力で解決していく活動の充実が図られている。)	4 共感し合う心	(5)自己有用感をはぐくむ集団づくり (6)いじめ、諸問題発生の防止	・互いを認め合う学級づくり ・縦割り活動の充実 ・学び合いを大切にした授業 ・早期発見の体制づくり ・いじめアンケート ・教育相談の充実 ・家庭との連携	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3
		5 一人一人のよさの発揮	(7)達成感を味わえる活動	・運動会、学習発表会、ふれあい集会などの学校行事 ・自分のよさに気付く場の設定	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4
		6 基本的学習習慣	(8)基本的学習習慣の確立	・矢立っ子「学習の約束」 ・ノート指導 ・家庭学習の習慣化 ・表現する場の設定 ・各教科における言語活動の充実 ・ドリル等を活用した反復練習	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3
	III 基礎学力 (児童一人一人が基本的学習習慣を身に付け、主体的に学習しながら、学習内容を定着させている。)	7 学力向上	(9)基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成	・少人数の特性を生かした基礎・基本の定着 ・教師の確かな見届けと指導、支援（教師のファシリテート） ・根拠を明らかにして説明する場の設定 ・児童主体の授業改善 ・学び合いのスタイルの工夫	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3
		8 保健指導	(10)健康的な生活習慣の形成	・早寝、早起き、朝ご飯、メディア等One Oneカーボンの活用 ・給食、歯磨き指導	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3
		9 体力の向上	(11)体力つくり活動の充実	・業間運動の推進 ・外遊びの奨励 ・徒歩通学の推奨	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3
	V 組織運営及び保護者・地域との連携 (学校の実状に合った経営がなされ、保護者、地域との連携が図られている。)	10 学校の明確な運営	(12)経営方針や重点施策の明示	・経営方針、重点施策の明確化	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4
		11 開かれた学校	(13)保護者・地域への情報発信	・学校だより、学級だより等の活用 ・HP、ブログ、緊急メールシステムの活用 ・諸活動の案内	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4
		12 P T A、地域、他校との連携（交流）	(14)PTA、地域、関係機関との連携	・地域のよさを生かした活動（地域人材の活用） ・PTA活動の充実 ・9年間のスパンでの実践事項 ・他校、保育所との交流学習	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4